

研究者のための昆虫写真の写し方(4)

(田辺秀男氏原図、本文30ページ参照)



- ① クジャクチョウ(撮影倍率 0.35X、ニッコール 105 mm+中間リング+クローズアップレンズ、f11、サンバックストロボ、ニコンF2、コダクローム25、札幌市、1978.4.22)
- ② ジョウザンオナガバチ(撮影倍率 0.33X、マイクロニッコール105 mm、f11、ニコンストロボ、ニコンFE2、コダクローム25、札幌市定山溪、1983.8.14)
- ③ エジッチゼミ(撮影倍率 0.33X、マイクロニッコール200 mm、f11→8、サンバックストロボ、ニコマートFT、コダクローム64、札幌市定山溪、1979.9.1)
- ④ ツチイナゴ(撮影倍率 0.29X、FAマクロ 50 mm、f8→11、内蔵ストロボ、ミノルタ CD-1000、ペンタックスMZ-5、フジクローム RD II、松山市、1997.4.8)

果実吸蛾類の生態

(本文17ページ参照)



ヒメエグリバ成虫



アカエグリバ成虫



吸蛾類の被害果



アケビコノハ成虫

(原図は大政義久氏提供)